



## ゆきなが 国体、相撲団体で優勝！ 江藤幸長君

先月、秋田県で開催された第62回国民体育大会で、相撲競技少年男子団体に出場した江藤幸長君（文徳高校3年、湯浦）が優勝し、見事日本一に輝きました。熊本県を9年ぶり3度目の優勝に導いたのは、江藤君ら5人の県内高校からの選抜メンバーで、試合では小柄な体格のチームながらスピードと瞬発力を生かした相撲で勝ち進みました。江藤君は小学校1年から内牧相撲道場で練習を始め、阿蘇北中相撲部、文徳高校相撲部と、長期にわたりよく鍛錬してきました。現在高校でもエースとして活躍。インターハイ九州大会でも2冠をとっています。



▲後列左から2番目が江藤君



## ひろき 内田大紀君（熊工2年）、バスケットボールで活躍

同じく国民体育大会、バスケットボール競技少年男子に、内田大紀君（熊本工業高校2年、西小倉）も出場し、2年生ながら県選抜チームに選ばれ健闘しました。さらに先月、全国高校選抜バスケットボール県予選で優勝し、12月に東京都で開催される全国大会出場が決まりました。県バスケットボール界期待の選手です。

## 子どもの神様の里に案内板が完成

子授けの神様「乙姫子安河原観音」と、天然痘予防の神様「乙姫神社」に由緒を書いた案内板が乙姫区民の協力で設置され、9月24日、除幕式が行われました。乙姫子安河原観音は、全国誌に取り上げられるほどの知名度で、参拝客も年間約1万人。また、神話にも出てくる乙姫神社は子どもの健やかな成長を見守る神様として、祭事では御神輿の下を子どもを抱えてくぐり祈願する参拝客で賑わいます。

除幕式で奥村区長は「参拝客に正しい由来を伝え理解を深めたかった。製作は、地元の木材を利用し、伝統建築の継承に努める熊本県立球磨工業高校建築科伝統建築コースの生徒さんをお願いした」と挨拶。除幕は製作した生徒たちが行い、阿蘇の森にたたずむ自分たちの作品に「一生の記念になります」と感激した様子でした。



▲製作した球磨工業高校生徒による除幕式



▲乙姫神社案内板



▲佐藤アナウンサー（左）と浅井アナウンサー

## アナウンサーによる“出前”読み聞かせ

KKTアナウンサーの佐藤史依<sup>しえ</sup>さんと浅井みどりさんによる絵本の読み聞かせが、9月27日、中通小学校で行われ、全児童36人が低学年と高学年に分かれて鑑賞しました。

アナウンサーが子どもたちとの触れ合いを深めるために小学校などで読み聞かせを行う「おとどけえほん」と題したKKTの企画で、中通公民館の岩本弘史館長の応募により実現しました。昨年に引き続き2回目とのことです。

この日、児童たちは読み聞かせを鑑賞したあと、早口言葉を盛り込んだ歌をアナウンサーの方たちと一緒に歌い、楽しいひとときを過ごしました。